

第8号  
平成21年11月

# 北野町連だより

発行者  
北野地区町内会連合会  
会長 濱田英彦



清田 区長  
石倉 昭男

## あしりべつ川に想う

清田区長より、北野町連だよりに寄稿いただきましたので、一面に特集を組ませていただきました。

今年、地下鉄南郷18丁目から区役所まで、自転車で通勤しています。あしりべつ川の土手の上を走るの、懐かしく、郷愁を覚えます。

私の生まれは旭川の郊外の田舎です。家のすぐ前に、我が家で「おおかわ」と呼ぶ川が流れていました。幅数メートル、深いところでは2メートルほどの川です。

春から秋にかけて、毎日のようにこの川で遊んでいました。ウグイ、フナ、コイ、ドジョウ、ときにはヤマベなど、魚がたくさんいました。魚釣りや魚すくい、水泳もこの川で。上はローカル電車の鉄橋となっており、ここから2メートルほどの水面に頭から飛び込む遊びも。ある時、ドラム缶を縦に真っ二つに割った廃缶が流れ着き、これに乗るカヌー遊びを工夫。底が丸いため、最初はバランスを取るのが難しく、すぐに沈没。川底から引き上げるのが大変でした。でも慣れてくると何とか乗れるように。のちにカヌーが私の趣味となった由来です。

人の寿命は長くて100年ですが、約400万年ともいわれる人類の進化の歴史が遺伝子となって繋がっています。

それが、私たちが「みどり」を求め、「自然」を求め、そして、人と人の「つながり」、「ふれあい」を求める「根っこ」だと私は思います。400万年のうちほとんどは自然の一部として生き、人と人が頑固な群れをつくって生きてきたのですから。

これから、「みどり」「ふれあい」そして「やすらぎ」あふれるまちづくりに向けて、あしりべつ川の清流がいつまでも続くことを願いながら、北野地区町連の皆さんと一緒に努力していきたいと思えます。



これは厚別橋に3人の男の子が橋の欄干に腰掛けていますが、区長もきっとこのようにしているも「おおかわ」を眺めていたようです。



山羊の世話は子どものころの区長の仕事でした。草が茂る「おおかわ」の堤防に、朝つなぎに出かけ、夕方連れ戻しに。



豊平川の下流にて愛犬ハナとカヌー遊び。

## 交通安全は家庭から



## 災害にそなえて



北野地区福祉のまち推進センター  
運営委員長 一瀬 ヒロ

災害は忘れた頃にやってくるといわれたのは昔のこと、最近の日本列島には、地震、台風、大雨と自然災害は矢継ぎ早にやってきます。札幌市は、たまたま災害の少ない町ではありますが、だからといって油断は禁物です。札幌市危機管理対策室が発行した今年3月発行の地震防災マップ（豊平区・清田区版）には、清田地域で予想される地震の

震度や液状化現象の危険性が記載されています。

北野地区福祉のまち推進センターでは、お一人で暮らしておられるご高齢の方、身体に障がいをもってしまわれた方々を、災害時には一人も見逃さずに安否確認をし、ご支援をしたいと願っています。そのために必要な個人情報は、ある程度お許しいただいて、台帳を作製することも検討する時期にきているのではないかと考えています。

幸い北野地区町内会連合会では、この度「防災研究会」の準備委員会を発足させました。福祉のまち推進センターも、その中で、各町内会・自治会の福祉推進委員会、民生委員・児童委員協議会、その他の関係機関とも連携しながら災害に備えていきたいと思っています。皆様のご協力をお願い致します。

◎ 北野地区福祉のまち推進センター「遊布の会」では、地震が起こった時に備え、危険から頭をまもり、筆筒や家具の倒れから身をまもる「防災ずきん」を作成しています。特に冬の災害には、「防寒ずきん」に、避難所では座布団にと、色々な使い方ができる便利なものです。ご希望の方には、お譲りもしています。

◎ お問い合わせは 電話011-885-0294 福まちセンター まで

### 北野地区町内会連合会『防災研究会』 設立準備委員会開催

北野地区町内会連合会では、平成19年度から地域防災について検討を開始し、北野地区住民の防災に対する意識調査を行い、関係機関の協力も得てその結果をまとめました。

今年度は、当連合会が主体となって、9月21日に第1回目の準備委員会を開催し、『防災研究会』設立に向けてスタートを切りました。委員構成は、当町連の濱田会長を中心に10名です。また、収容避難場所となる小・中学校を代表して北野小学校校長にオブザーバーとして参加を依頼し、運営の要として準備委員会事務局を設けています。

第2回目の準備委員会は、10月29日に北野連合会館で、札幌市危機管理対策室の小嶋課長に出前講座をお願いしました。約30名の参加者は、平成7年に発生した兵庫県南部地震（阪神・淡路大震災）を題材とした地震発生時になすべきことや心構え、そして伏在活断層による最大被害を想定した札幌市の清田区防災マップ（豊平区・清田区版）等の解説を、熱心に受講し震災に対する備えの重要性を再確認でき、有意義な講座となりました。

第3回目の準備委員会では、11月24日に札幌市都市局住宅課大島課長の出前講座を開催し、家屋の安全性について学び防災知識の向上を図りました。

今後は、災害時における町連、単町、民児協等各種団体の連携、連絡体制と役割分担等について検討し、次年度の活動へ繋いで行く予定にしています。

#### 準備委員会組織構成

委員長	濱田 英彦	町内会連合会会長
委員	山崎 明美	同 副会長
委員	朝川 文彦	同 副会長
委員	一瀬 ヒロ	同 副会長
委員	木村 信也	同 副会長
委員	岡 法枝	同 女性部長
委員	佐々木悦夫	東北野町内会会長
委員	田中 稔生	北野第二団地自治会会長
委員	赤坂 治雄	朝日ヶ丘町内会会長
委員	飯田 淳二	民生・児童委員協議会会長
オブザーバー	木村 範子	北野小学校校長
事務局	山田 威洋	町内会連合会防災部長
	酒井 泰	北野まちづくりセンター所長



出前講座風景





# 北野けいじ板

**西** 北野町内会、今年の「秋の見学と温泉の旅」は、お天気に恵まれ、とても楽しい旅でした。

参加者50名は、最初に月形樺戸博物館の見学。この樺戸集治監の開監から廃監までの39年間の歩みを、豊富な歴史資料でドラマチックに展示再現しています。初めての参加者も多く、興味深く見学していました。

北村温泉では、のんびり、ゆったり、湯につかり、いわみざわ公園では、秋のバラと紅葉のコントラストも見事なバラ園の芝生で、なごやかな茶話会を開き、大いに盛り上がり、会員相互の親睦と交流が図られました。



月形樺戸博物館



**北** 野団地自治会、8月8日親子花火大会  
(子供参加約35名+保護者他)。

当日は風も無く天候に恵まれ、喜んで花火を楽しむ姿が見られ、けがもなく無事終了することが出来ました。



8月6日、介護予防事業「きたのくらぶin北野団地」でお好み焼き作り(参加小学生を含み38名)。今回初めて夏休み中の小・中学生に働きかけた結果、高齢者と子供と一緒に「楽しみ」、「ふれあう場」となり、双方にとって有意義な集まりとなりました。



## 「安全・安心で、住みたい・住んでみたい、あこがれの町づくり」を目指して



八望台町内会  
会長 千葉 等

八望台町内会は、北野町連の中でも、高台に位置し、四方・八方を眺められるところから八望台町内会と名付けられました。近くには、あしりべつ川が流れ、緑に囲まれた自然豊かな住宅街であります。区域は、「北野3条4丁目並びに3条5丁目の全域及び清田1条3丁目3番から6番まで」の範囲が、私達の町内会です。

当時、電気も水道もままならない中で、昭和39年にわずか32世帯で町内会を設立しました。続いて昭和58年には、東苑町内会と合併して、今年で創立45周年を迎えました。現在の会員世帯数は、591世帯で約89%が加入しております。大きくもなく小さくもない、まとまりのある素晴らしい町内会です。

活動としては、児童の登下校時の安全パトロールや各部合同で行われる防犯パトロールをはじめ、福祉部が企画して行われる食事会・茶話会、そして毎年行われて第10回を数える福祉まつり、育成・体育・子供会が中心となって実施される花火大会、ラジオ体操、さらに毎年約500名が集い、盛大に行われる町内夏まつり等があります。環境面では、町内一斉清掃や花いっぱい運動を展開しております。

各事業のほか、役員独自の活動としても、高齢者、独居高齢者の支援部隊（サポート隊）を結成しています。その活動内容は、高齢者の方が、手の届かない、高いところからの物の出し入れや電球の取り換え、ちょっとしたドアのきしみ等を電話一本で対応処理し、高齢者の悩み解消を目的としております。また、様々な活動に利用されている町内会館は、文化活動の拠点としての役割も担っております。

今後とも、安全・安心な町づくり、住みよい、住んでみたい、あこがれの町づくりの活動を積極的に推進して参ります。

## 「新型インフルエンザにご注意」

札幌市のインフルエンザの発生状況は、10月11日の時点で警報レベルを超えるほどとなり、残念ながら10月25日に予定していた「第11回北野福祉まつり」は中止することといたしました。その後もやや下火になっているものの油断は禁物です。

新型インフルエンザに対しては、ほとんどの方が免疫を持っておらず、感染防止のため、10月末から医療従事者などから予防接種が開始されていますが、感染が下火になるまでは自己管理が重要となります。

以下のことに注意しながら、予防に心がけましょう。  
(広報さっぽろ10月号より)

### ＜感染経路＞

感染した人の咳やくしゃみで放出されたウイルスを直接吸い込むことや、ウイルスの付いた手で鼻や口、目に触れることで感染します。



### ＜予防法、毎日実践＞

- ・人ごみをなるべく避ける
- ・外出後は手洗い、うがいをしっかりする



### ＜特に、注意の必要な方＞

- ①慢性の呼吸器・心疾患をお持ちの方
- ②糖尿病の方
- ③腎機能障害の方
- ④免疫機能不全の方
- ⑤妊婦
- ⑥乳幼児
- ⑦高齢者

### ＜感染したときは＞

- ①マスクを着用し、感染拡大を防ぐ
- ②外出を控える
- ③医療機関の受診時もマスクを着用する



(y.s)

編集委員長

西野野町内会  
八望台町内会  
北野閉地自治会  
朝日ヶ丘町内会  
アドバイザ  
まちセン所長

木村 信也  
酒井 泰  
赤坂 治雄  
奥田 裕志  
千葉 幸一  
門崎 幸一

今号では、石倉区長の寄稿文や町連として災害対策、そして単町の行事等を中心に編集いたしました。次号には、皆様からの投稿(含写真)を多数お待ちしております

編集後記



### 吉田川自然環境調査

8月30日、まきば町内会の子ども達が札幌市自然保護調査ボランティアの方々と共に吉田川を虫取り網で調べたところ、色々な魚・虫の確認ができました。やまべ・ヨコエビ・トンボの幼虫(ヤゴ)などが元気に住んでいました。



### 冬の交通安全市民総ぐるみ運動 五町連合同街頭啓発

セレモニーを終えて街頭啓発に向かう北野地区の皆さんです。

